日本知的障害者ソフトボール連盟（仮称）設立に向けた第１回準備委員会　記録

日時：平成２６年１２月２０日（土）
場所：東京都障害者スポーツ協会事務局
司会：東京都 井上監督
記録：岐阜県 高根監督

１　参加者自己紹介

北海道・東北ブロック：相澤晴朗（宮城県）
関東ブロック：井上一仁（東京都）
北信越・東海ブロック：高根久志（岐阜県）猪股由武（福井県）
近畿ブロック：角正人（神戸市）濱田眞人（奈良県）
中国・四国ブロック：岩藤和彦（岡山県）

２　準備委員会設立の経緯

全国障害者スポーツ大会においては、全国知的障害者スポーツ大会から続いて、知的障害者を対象としたソフトボール競技が実施されている。年を追う毎に競技力が向上し、毎年白熱した試合が繰り広げられている。

全国では２００を越すソフトボールチームが、各地域で活動をしている。全国障害者スポーツ大会の予選会では、各チーム共に全国大会出場を目指して活動をしているが、出場できるチーム数がブロック１チームであるこから、出場を果たすにはハードルが高い現状にある。また、他に全国レベルの公式戦が実施されていないという状況から、地方おいては、競技者自身の技術力向上やチームのレベルアップ、更には交流を図る機会が限定的になっている状況もあり、活動が停滞している地域もある。

以上の状況を鑑み、全国障害者スポーツ大会に出場した経験を持つ指導者が集まり、技術力の向上や競技人口の拡大、選手間の交流を目的とした活動を活発化させることで、知的障害者のソフトボール競技の発展と選手の自己実現の場を提供することを目的として、日本知的障害者ソフトボール連盟準備委員会を設立する。

３　連盟設立に向けた方向性について

（１）連盟設立の理解と、各都道府県チームの協力

確認事項：今回の話し合いを基に、各ブロック毎に代表者を選出する。代表者は、各県の知的障害者ソフトボール関係者に趣旨を説明して、加盟について理解を得る。

（２）連盟代表及び役員選出

確認事項：障害者スポーツに理解のある、高市早苗衆議院議員に協力の要請をしていく。

（３）上部団体への加盟依頼

確認事項：日本障害者スポーツ協会に、加盟について相談することで一致した。協会には加盟にどのような条件が必要か確認をとる。

4　今後の主な活動について

（1）全国大会の開催

将来的に財政的裏付けがとれた場合は、連盟の大会を実施したい。平成２７年度は、東日本と西日本に分かれて、それぞれで大会を実施したい。参加費については、自己負担とする。

（2）交流大会の実施

平成２７年度より、各ブロックごとに都道府県持ち回りで交流大会を実施する。また希望するチームは、他ブロックの交流大会にも参加できる体制を作っていく。実施にあたっては、競技性を求めるだけではなく、交流的な要素の活動も取り入れる。

（3）技術講習会の開催

平成２７年度より、可能なブロックについては技術講習会を実施する。競技人口の拡大という観点からも、競技を楽しむ要素の企画も計画・実践していく。

（4）他団体との企画の推進

NPO 法人ソフトボールドリーム（理事長：宇津木妙子 氏）に依頼し、上記の大会や講習会について、協力を得られるか模索していく。３月下旬に宇津木氏と面会することが決定して、できる方向性を探っていく

5　連盟設立に向けた諸課題について

（1）各都道府県連盟の登録及び加盟方法

・まずは、ブロック毎に登録チームの呼びかけを行い、登録チーム数と会員数を掌握する。同時にブロック代表の１～２名で理事会を設けて、今後の活動について、検討・審議する。

・チーム登録は、都道府県・政令指定都市の区分は設けない。

（2）加盟料の徴収

・各チームの財政上、加盟料徴収は難しいと考える。他に財政上の支援は得ていないことから、当面は大会や講習会の必要経費は参加費を実費徴収して行うこととする。

（3）役員の費用負担

・各ブロックから、理事及び監事候補の役員を推薦して、次回打ち合わせで役職について決定する選出された役員については、当面の間、自己負担で行う。

（3）連盟の定款について

・定款（案）を作成した。次回打ち合わせまでに、細部を検討していく。

6　その他

（1）次回委員会の開催について

平成２７年２月２８日土曜日　午後３時～　愛知県名古屋市内を予定。